



工期20年以上、延べ人数1,400万人を動員した世紀の大工事 一大国家プロジェクト“青函トンネル”の軌跡

20年以上もの歳月をかけた一大国家プロジェクトであり、「世紀の大工事」に至るきっかけから完成までのドラマや歴史を辿ることができ、実際に工事で使用されていた機器を見ることもできます。

「世紀の大工事」とも称された青函トンネル。この記念館では、そんな青函トンネルの工事に至るきっかけから完成までのドラマや歴史を辿ることができ、またここでしか見ることのできない貴重な映像や資料をはじめ、実際に工事で使用されていた機器を見ることもできます。



完成までの軌跡を記録

当時の世界トップレベルのトンネル技術を結集して完成した世界最大の海底トンネル「青函トンネル」。津軽海峡の海面下240mに作られた全長53.85kmのトンネルは、完成させたことでトンネル土木技術の大きな夢と可能性となり世界に広がりました。海に隔てられた町と町や国と国は海底トンネルを通して交流や新たな物流を生み出すことが可能となったのです。福島町は、青函トンネル工事の北海道側の基地を担い、工事記録や技術情報、設備重機などが遺産として受け継ぎ、トンネル文化を後世に伝えるためこのミュージアムを誕生させました。



世紀の遺産を体感

トンネルの姿を模したこのミュージアムは「世紀の遺産 青函トンネル」が誕生するまでの全てを体感できる。世界初の水平ボーリングに代表される高度な技術情報、トンネルマンの右腕と呼ばれる掘削機、工事記録などをパネルや大型映像を通して紹介しているほか、ここでしか見ることができない貴重な設備重機も展示しています。また、青函トンネルの必要性が高まったきっかけといわれる海難事故や、工事途中の海底から水が噴き出したり、大事な仲間を亡くしてしまったりと、トンネルマンの当時のリアルな姿を垣間見ることが出来ます。



青函トンネル記念館

住所 / 〒049-1331 北海道松前郡福島町字三岳 32-2

電話 / 0139-47-3020

開館時間 / 9:00～17:00

開館期間 / 3月17日～11月30日（休館中は団体のみ受入可 ※要予約）

駐車場 / 70台（大型5台） ※館内ガイド有（団体予約のみ）

料金	単独券	個人	大人 400円	小中高生 200円
	単独券	団体	大人 300円	小中高生 150円
	共通券	個人	大人 700円	小中高生 350円
	共通券	団体	大人 500円	小中高生 250円



横綱千代の山
千代の富士記念館



心技体

福島町は大相撲において、「北海道初の横綱」となった千代の山、
した日本唯一の町です。この記念館では、二人の横綱の歴史や、さらに
できます。



第五十八代 横綱 千代の富士

北海道福島町で漁師を営む家に誕生、子供の頃から漁業を手伝って自然と足腰が
鍛えられ運動神経が抜群の青年に育つ。15歳の時、同郷でもある九重親方（元
横綱千代の山）からのスカウトで、相撲に興味はなかったが「飛行機に乗せてや
るぞ」の一言で心を動かされ入門を決意。獲物を狙うような鋭い眼光からのちに
“ウルフ”と呼ばれ日本中にウルフフィーバーを巻き起こし、スピードとパワーで
君臨した昭和最後の大横綱。



二人の横綱を日本で唯一輩出

千代の山・千代の富士の軌跡を辿る

「角界初の国民栄誉賞」を受賞した千代の富士と、二人の横綱を輩出
数々の展示品を見ることによって、二人の栄光の軌跡を知ることが



第四十一代 横綱 千代の山

1926年北海道福島町で生まれる。戦前の大横綱双葉山にも勝てる逸材として昭和
17年に出羽海部屋へ入門。昭和20年秋場所、19歳6ヶ月で最年少幕内力士となり、
この場所で全勝優勝を飾る。まだ日本は戦争末期敗戦直後の時代であり、千代
の山も軍需工場に勤労奉仕をしながらの偉業であった。引退後は「九重」を襲名、
昭和42年初場所後に九重部屋を創設。その後、故郷の福島町で類稀な逸材「秋元
貢少年（のちの千代の富士）」に出会うのである。

横綱千代の山・千代の富士記念館

住 所 / 〒049-1312 北海道松前郡福島町字福島 190 番地

電 話 / 0139-47-4527

開館時間 / 9:00～17:00

開館期間 / 3月17日～11月30日（休館中は団体のみ受入可 ※要予約）

駐 車 場 / 32台（大型3台） 道の駅 ※館内ガイド有（団体予約のみ）

料 金	単独券	個人	大人 500 円	小中高生 250 円
	単独券	団体	大人 400 円	小中高生 200 円
	共通券	個人	大人 700 円	小中高生 350 円
	共通券	団体	大人 500 円	小中高生 250 円